

平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年3月31日

上場会社名 日本プロセス株式会社
 コード番号 9651 URL <http://www.jpdc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上石 芳昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括 (氏名) 坂巻 詳浩
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5408-3351

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	3,725	△10.6	253	△32.8	288	△29.7	188	△29.2
28年5月期第3四半期	4,168	0.5	376	△7.1	410	△4.6	266	1.3

(注)包括利益 29年5月期第3四半期 382百万円 (27.0%) 28年5月期第3四半期 301百万円 (3.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	38.39	—
28年5月期第3四半期	54.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第3四半期	9,230	8,210	88.9
28年5月期	9,146	8,011	87.6

(参考)自己資本 29年5月期第3四半期 8,210百万円 28年5月期 8,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	15.00	—	20.00	35.00
29年5月期	—	17.50	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	32.50	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

29年5月期期末配当金の内訳 普通配当 17円50銭、記念配当 15円00銭

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,642	0.4	393	△7.7	446	△7.0	296	△2.9	60.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期3Q	5,745,184 株	28年5月期	5,745,184 株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	822,634 株	28年5月期	822,634 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期3Q	4,922,550 株	28年5月期3Q	4,922,550 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用・所得環境の改善傾向は見られるものの、英国のEU離脱懸念や米国の政権交代に伴う海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動などから、先行きが不透明な状態で推移しました。

情報サービス産業におきましては、企業収益の改善を背景として、大企業・非製造業などを中心にソフトウェア投資は緩やかな増加傾向で推移しました。

こうした環境の中、当社は、「社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」を中期経営ビジョンとする中期経営計画（平成27年6月～平成30年5月）に基づき、IoT、自動車、環境・エネルギーをキーワードとし次なる中核ビジネスに注力すること、継続的な発展のために人材へ重点投資することに取り組んでまいりました。注力分野としている自動車では、これまで、制御システム事業部においては車載制御システム開発、組込システム事業部ではモバイル端末や車載情報システムの開発により関連する技術を長年蓄積しており、前期には、社内の技術を結集して先進運転支援システム（ADAS）分野の車載カメラシステム開発に参画しました。こうしたことから、当期より各事業部の自動車関連部門を結集して自動車システム事業部を新設し、自動車システム事業の拡大と自動運転に向けた技術者育成の強化に取り組んでおります。

また、これまで継続してきたソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで顧客に最大のメリットを提供するという基本方針については、各ビジネスユニットごとに目標と評価方法を明確にし、計画に従ったPDCAサイクルを回す取り組みも継続して推進しております。

経営成績につきましては、請負開発が多い特定情報システムと制御システムの交通関連で第4四半期に検収される案件が多いことに加え、全社的に前期と比較して売上が第4四半期に偏重傾向であること、自動車システムの車載情報システムで機種開発が収束したことなどで、売上、利益ともに前年を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,725百万円（前年同期比10.6%減）、営業利益は253百万円（前年同期比32.8%減）、経常利益は288百万円（前年同期比29.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は188百万円（前年同期比29.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

（制御システム）

制御システムでは、エネルギー関連は、火力発電所向け監視・制御システムで作業量が減少しましたが、電力広域システムで作業量が増加しました。また、プラント制御用コントローラーシステムは横ばいで推移したことなどで、エネルギー関連全体では、売上、利益とも前年を上回りました。

交通関連は、新幹線の運行管理システムは保守フェーズが継続し横ばいで推移しましたが、在来線の運行管理システムは第4四半期に検収される案件が多いため、交通関連全体では、売上は前年を下回りました。一方、利益は効率よく開発を進めたことなどで前年を上回りました。

この結果、売上高は608百万円（前年同期比8.7%減）、セグメント利益は147百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

（自動車システム）

自動車システムでは、車載情報システムは通信ミドルウェア開発は横ばいで推移しましたが、機種開発が収束し体制を大きく縮小しました。車載制御システムのエンジン制御で作業量が減少したものの、無段階変速機（CVT）制御は堅調に推移しました。また、先進運転支援システムの車載カメラシステムや車載制御システムも堅調に推移しましたが、自動車システム全体では、社内外の技術者を計画通りにアサインできなかった影響もあり、売上、利益とも前年を下回りました。

この結果、売上高は858百万円（前年同期比10.5%減）、セグメント利益は156百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

（特定情報システム）

特定情報システムでは、先進運転支援システムの画像認識システムは堅調に推移し、地理情報関連は横ばいで推移しました。一方、危機管理関連は方式設計業務でピークを過ぎ作業量が減少したことや、一部の案件で開発フェーズが終了し体制を縮小したことなどで、売上、利益とも前年を下回りました。

この結果、売上高は248百万円（前年同期比37.7%減）、セグメント利益は38百万円（前年同期比56.9%減）となりました。

(組込システム)

組込システムでは、ストレージデバイス開発は企業向けで新たにファームウェア検証を受注したことなどで作業量が増加したものの、コンシューマー向けやHDD開発は作業量が減少しました。医療向けシステムは堅調に推移し、先進運転支援システムの車載カメラ基盤システムは横ばいで推移しました。また、建設機械のIoT案件に着手しました。一方、ストレージサーバー開発は作業量が減少し体制を縮小したため、売上、利益とも前年を下回りました。

この結果、売上高は439百万円(前年同期比6.5%減)、セグメント利益は97百万円(前年同期比7.7%減)となりました。

(産業・公共システム)

産業・公共システムでは、駅務機器開発は当第3四半期に大規模開発案件が検取されたこと、ICカード開発は複数案件の開発が並走したことで売上、利益とも前年を上回りました。また、鉄道事業者向け保守支援システムも堅調に推移しました。一方、準天頂衛星システムで試験フェーズに入ったことや、鉄道子会社向けのエンジニアリングサービスで作業量が減少したことでそれぞれ体制を縮小しました。

この結果、売上高は906百万円(前年同期比0.8%減)、セグメント利益は230百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

(ITサービス)

ITサービスでは、検証業務は戦略的に製品検証業務から構築業務に軸足を移しているため、売上、利益とも前年を下回りました。構築業務は堅調に推移し、保守・運用業務は会計システムで作業量が減少し体制を大きく縮小しましたが、その他は堅調に推移しました。

この結果、売上高は662百万円(前年同期比12.8%減)、セグメント利益は99百万円(前年同期比34.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて84百万円増加して、9,230百万円となりました。この主な要因は、仕掛品等が増加したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて114百万円減少して、1,020百万円となりました。この主な要因は、賞与引当金が減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて198百万円増加して、8,210百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は、88.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年7月7日公表の平成29年5月期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,461,029	2,751,675
受取手形及び売掛金	1,341,274	1,062,058
電子記録債権	707,266	467,767
有価証券	1,607,659	1,504,743
仕掛品	111,892	427,508
繰延税金資産	218,927	130,715
その他	61,827	160,831
流動資産合計	6,509,877	6,505,299
固定資産		
有形固定資産	206,194	209,008
無形固定資産	10,883	9,556
投資その他の資産		
投資有価証券	2,178,325	2,253,231
その他	241,700	253,893
投資その他の資産合計	2,420,025	2,507,124
固定資産合計	2,637,103	2,725,689
資産合計	9,146,981	9,230,989
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,623	66,882
未払法人税等	13,381	4,917
賞与引当金	589,618	372,549
その他の引当金	22,511	11,507
その他	330,603	362,995
流動負債合計	1,013,738	818,852
固定負債		
引当金	79,332	75,132
その他	42,058	126,981
固定負債合計	121,391	202,113
負債合計	1,135,129	1,020,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,851,275	4,855,638
自己株式	△754,212	△754,212
株主資本合計	7,910,320	7,914,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,531	295,340
その他の包括利益累計額合計	101,531	295,340
純資産合計	8,011,852	8,210,023
負債純資産合計	9,146,981	9,230,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	4,168,821	3,725,431
売上原価	3,296,423	2,957,399
売上総利益	872,398	768,031
販売費及び一般管理費	495,794	514,974
営業利益	376,603	253,057
営業外収益		
受取利息	17,746	16,242
受取配当金	5,602	10,483
保険解約返戻金	7,399	7,029
その他	3,117	3,183
営業外収益合計	33,866	36,938
営業外費用		
売上債権売却損	—	1,176
その他	86	300
営業外費用合計	86	1,476
経常利益	410,383	288,519
特別損失		
固定資産除却損	501	0
特別損失合計	501	0
税金等調整前四半期純利益	409,882	288,519
法人税、住民税及び事業税	6,252	12,052
法人税等調整額	136,640	87,509
法人税等合計	142,892	99,561
四半期純利益	266,990	188,958
親会社株主に帰属する四半期純利益	266,990	188,958

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	266,990	188,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,312	193,809
その他の包括利益合計	34,312	193,809
四半期包括利益	301,302	382,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301,302	382,767
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)
【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	666,643	959,394	399,206	470,308	913,746	759,522	4,168,821
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	666,643	959,394	399,206	470,308	913,746	759,522	4,168,821
セグメント利益	134,237	178,176	90,130	106,009	218,838	151,255	878,648

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	4,168,821
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	4,168,821
セグメント利益	△502,044	376,603

(注) 1. セグメント利益の調整額△502,044千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△495,794千円及びその他△6,250千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	608,968	858,429	248,812	439,864	906,847	662,508	3,725,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	608,968	858,429	248,812	439,864	906,847	662,508	3,725,431
セグメント利益	147,528	156,979	38,853	97,818	230,989	99,801	771,970

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	3,725,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	3,725,431
セグメント利益	△518,912	253,057

(注) 1. セグメント利益の調整額△518,912千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△514,974千円及びその他△3,938千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営の合理化及び事業の効率的運営を図るため、組織変更を行ったことに伴い報告セグメントの区分を見直しております。

変更点としては、「制御システム」、「組込システム」に含めておりました自動車関連事業を、「自動車システム」として独立した報告セグメントとしております。また、従来の「交通システム」を「制御システム」に統合しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

第1四半期連結累計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	461,440	△13.3
自動車システム	701,450	△10.2
特定情報システム	209,958	△32.1
組込システム	342,046	△6.1
産業・公共システム	675,858	△2.7
ITサービス	562,707	△7.5
合計	2,953,461	△10.2

(注) 1. 金額は製造原価によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	768,292	+10.6	292,842	+35.9
自動車システム	1,040,215	+1.1	290,521	+87.0
特定情報システム	369,551	+6.9	191,378	+377.0
組込システム	442,930	△6.4	57,781	△9.6
産業・公共システム	921,131	△0.8	185,238	△17.5
ITサービス	641,950	△8.8	73,819	△8.5
合計	4,184,072	+0.2	1,091,581	+39.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	608,968	△8.7
自動車システム	858,429	△10.5
特定情報システム	248,812	△37.7
組込システム	439,864	△6.5
産業・公共システム	906,847	△0.8
ITサービス	662,508	△12.8
合計	3,725,431	△10.6

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	1,052,766	25.3	836,140	22.4
株式会社東芝	622,596	14.9	655,934	17.6
日立オートモティブシステムズ株式会社	485,840	11.7	619,825	16.6
アルパイン株式会社	414,940	10.0	—	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当第3四半期連結累計期間におけるアルパイン株式会社に対する販売実績は、総販売実績に対する割合が10%未満であるため記載を省略しております。